

2026 年度

文学部
自己推薦入学試験

【外国語型】

【専攻適性型】

入学試験要項

本冊子と併せて『特別入試出願手引』も必ず確認してください。

『特別入試出願手引』

<https://www.chuo-u.ac.jp/connect/admission/special/guide/>



中央大学
CHUO UNIVERSITY

— 記載内容 —

I. 募集専攻(プログラム)・募集人員・過年度試験結果

II. 出願資格

III. 試験日程

IV. 出願書類

V. 選考(2次選考)

VI. 入学前教育課題

以下の内容については別冊『特別入試出願手引』を確認してください。

入学試験における注意事項

出願手続

入学検定料の支払い

出願書類における注意事項

入学手続

学費その他納入金

奨学金

—入学試験について—

本要項に記載の入学試験は、文部科学省の定める大学入学者選抜実施要項における「総合型選抜」として実施するものです(アドミッション・ポリシーについては、本学Webサイト：<https://www.chuo-u.ac.jp/connect/admission/policy/>より確認してください)。可否について、出願書類(調査書、その他の証明資料および志願者記載資料)や各試験方式の選考方法によって、総合的に判定します。

I.募集専攻(プログラム)・募集人員・過年度試験結果

<募集専攻(プログラム)・募集人員>

専攻(プログラム)	【外国語型】	【専攻適性型】
国文学専攻	3名	-
英語文学文化専攻	5名	-
ドイツ語文学文化専攻	2名	-
フランス語文学文化専攻	4名	2名
中国言語文化専攻	1名	-
日本史学専攻	1名	6名
東洋史学専攻	1名	-
西洋史学専攻	2名	-
哲学専攻	1名	1名
社会学専攻	3名	15名
社会情報学専攻	3名	-
教育学専攻	1名	-
心理学専攻	2名	2名
学びのパスポートプログラム	2名	8名

※本入試制度には、【外国語型】と【専攻適性型】の2方式があります。両方式の併願はできません。

※本入試制度は自由応募制です。他の入試制度や本学他学部、他大学との併願を妨げるものではありません。

※志望専攻(プログラム)は1つに限ります。

※国文学専攻、英語文学文化専攻、ドイツ語文学文化専攻、中国言語文化専攻、東洋史学専攻、西洋史学専攻、社会情報学専攻および教育学専攻は【専攻適性型】の募集は行いません。

※「学びのパスポートプログラム」は、入学手続き時に「社会文化系」と「スポーツ文化系」のいずれかを選択します。入学後の系統変更はできません。

<過年度試験結果>

専攻(プログラム)	2025年度				2024年度			
	【外国語型】		【専攻適性型】		【外国語型】		【専攻適性型】	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
国文学専攻	13	9	-	-	15	13	-	-
英語文学文化専攻	53	8	-	-	33	14	-	-
ドイツ語文学文化専攻	11	6	-	-	6	3	-	-
フランス語文学文化専攻	4	3	4	3	10	7	6	3
中国言語文化専攻	6	5	-	-	5	3	-	-
日本史学専攻	1	0	17	5	0	0	10	2
東洋史学専攻	2	1	-	-	0	0	-	-
西洋史学専攻	6	3	-	-	5	3	-	-
哲学専攻	4	0	10	1	7	2	7	2
社会学専攻	55	11	78	12	28	9	62	12
社会情報学専攻	14	4	-	-	18	7	-	-
教育学専攻	15	2	-	-	27	3	-	-
心理学専攻	17	0	27	2	23	2	24	3
学びのパスポートプログラム	30	7	117	10	13	4	128	16
計	231	59	253	33	190	70	237	38

Ⅱ.出願資格

以下の1および2の要件をどちらも満たす者

1.【外国語型】・【専攻適性型】共通要件

2026年3月31日までに、以下①～⑫のいずれかに該当する者(見込み含む)

- ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- ②特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者
- ③外国において、学校教育における12年の課程を修了した者(注1)
- ④外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者(注1)
- ⑤外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
- ⑥文部科学大臣が外国の高等学校相当として指定した外国人学校を修了した者(注1)
- ⑦高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了した者
- ⑧文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程を修了した者
- ⑨文部科学大臣が指定した外国の大学入学資格を保有する者
- ⑩文部科学大臣が指定した国際的な評価団体の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者
- ⑪高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した18歳以上の者(注2)
- ⑫本学の個別入学資格審査において認められた18歳以上の者(注3)

注1:12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣が指定した準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要があります。

注2:2025年度第1回までの実施試験を対象とします。

注3:⑫での出願を希望する場合は、出願期間開始日の1か月前までに入試課(問い合わせフォーム: <https://chuo-admissions.zendesk.com/hc/ja/requests/new>)に問い合わせてください。なお、審査結果の通知には10日ほど日数を要しますので、時間に余裕を持って手続を行ってください。

2.出願方式別要件

【外国語型】に出願する場合は、以下の言語(英語、ドイツ語、フランス語)から1つを選び、選択した言語において定められている要件を満たすこと。

	英語外部試験名称	得点・級	備考
①	TOEFL iBT®	57 以上	Home Edition、Paper Edition を除く Test Date スコアに限る(MyBest スコアは受け付けない)
②	TOEIC®L&R および TOEIC®S&W	合計 1410 以上	IP テストを除く、TOEIC®L&R のスコアに、TOEIC®S&W のスコアを 2.5 倍にしたスコアを足した合計スコアを出願資格要件とする
③	TEAP(4 技能パターン)	270 以上	—
④	TEAP CBT	535 以上	—
⑤	IELTS(アカデミック・モジュールに限る)	4.5 以上	IELTS コンピューター版を含む IELTS Online を除く、One Skill Retake 不可
⑥	実用英語技能検定	準 1 級以上合格	英検 S-CBT、英検 S-Interview を含む
⑦	GTEC	1050 以上	CBT タイプ、検定版 Advanced タイプ
⑧	ケンブリッジ英語検定	B1 Preliminary 以上または 4 技能 CBT Linguaskill153 以上	B1 Preliminary、B2 First は「for Schools」も対象とする。また、4 技能 CBT Linguaskill は公開会場での受験に限る

※英語能力による出願する場合は、上記英語外部試験名称①～⑧のいずれに該当する者。

なお、出願期間初日から遡って2年以内に受験(英検については2次試験)したものに限りません。

※各受験回の合計点のみを有効とします。複数回受験した場合でも、各技能の最高点の合算は行いません。

	ドイツ語試験名称	得点・級	備考
①	ドイツ語技能検定試験(独検)	3 級以上合格	—
②	ゲーテ・ドイツ語検定試験 Goethe-Zertifikat	A2 以上合格	青少年向け(Fit in Deutsch)含む
③	オーストリア政府公認ドイツ語能力 検定試験 ÖSD-Zertifikat	A2 以上合格	—
④	上記①②③と同等レベル以上のドイツ語能力を証明する検定の合格		事前審査が必要。P.3<事前審査について>を確認してください。

	フランス語試験名称	得点・級	備考
①	実用フランス語技能検定試験(仏検)	3 級以上合格	—
②	DEL F・DAL F の DEL F	A2 以上合格	DEL F ジュニア含む
③	TCF	A2 以上合格	
④	上記①②③と同等レベル以上のフランス語能力を証明する検定の合格		事前審査が必要。P.3 <事前審査について>を確認してください。

【専攻適性型】に出願する場合は、以下の専攻(プログラム)別要件に該当すること。

<専攻(プログラム)別要件>

フランス語 文学文化専攻	美術館等でのボランティア(またはそれに類似するプログラム)体験または教育普及プログラム等に継続的に参加した体験を持つ者。但し、上記ボランティア体験及び教育普及プログラムとは、以下の①②のどちらも該当するものを指す。 ①美術と関わりがある。 ②学芸員またはそれに相当する職員を擁する展示専用の恒久的な施設で実施されている。 個人見学または団体見学等への参加は含まない。
日本史学専攻	以下の①および②のどちらも該当する者。 ①高等学校または中等教育学校(後期課程)において「日本史探究」を履修し、本専攻において日本史学を学修するための基礎学力を有する者。 ②日本史研究に強い意欲があり、高校時代に日本史学・日本考古学に関する活動に積極的に取り組んできた者。
哲学専攻	高校時代までに、文学書、哲学書等の豊かな読書経験を持つと自負する者。
社会学専攻	社会学を学びたいという意欲が特に強く、合格後に本専攻に入学することを確認できる者。 ※自分が出願資格を満たしているか不明な場合は「Q&A」(P.9)を確認すること。
心理学専攻	心理学に強い関心を持ち、心理学に関する多くの読書経験やボランティア等の経験を持つと自負する者。
学びのパスポート プログラム	学問領域を横断する多方面の内容に関心を持つ者。

<事前審査について>

【外国語型】のドイツ語能力またはフランス語能力の要件④で出願する場合、本学における事前審査の対象に該当します。

以下①～③の手順で手続きを行ってください。

- ①志願者本人が、**出願期間開始日の1 か月前まで**に、以下の必要事項を入力し、入試課まで連絡してください。期日後の申し出は一切受け付けません。

お問い合わせ先:<https://chuo-admissions.zendesk.com/hc/ja/requests/new>

[件名] 2026 年度文学部自己推薦入学試験外国語型 出願資格事前審査

[お問合せ内容] 以下の事項について全て入力してください。

1.氏名 2.カナ氏名 3.電話番号 4.志望専攻(プログラム) 5.出願言語

6.外国語能力を証明する書類(名称、概要) ※該当する書類を添付のうえ、送信してください。

- ②志願者からの申し出後、本学において出願資格を満たしているか審査のうえ、審査結果をメールにて通知します。

なお、審査結果の通知には 10 日ほど日数を要しますので、時間に余裕を持って手続きを行ってください。

ドメイン指定受信をしている場合は、必ず「@g.chuo-u.ac.jp」および「@chuo-admissions.zendesk.com」からのメールが受信できるよう、予め設定しておいてください。当該設定がされていないことにより、志願者が不利益を被った場合、本学は一切関知しません。

- ③事前審査によって、出願を認められた志願者は、出願期間内に願書(Web 出願登録、入学検定料の支払い、必要書類の送付)を行ってください。願書類は、事前審査を受けた書類の原本証明を受けたものを必ず提出してください。それ以外の書類の提出は受け付けません。

Ⅲ.試験日程

選考は、2段階選考となります。

1次選考=出願書類に基づく書類選考

2次選考=①外国語試験または専攻(プログラム)別試験 ②面接、グループワーク等

※選考の内容は出願方式や出願先の専攻(プログラム)により異なります。詳細は、P.7～8を確認してください。

出願期間 (締切日消印有効)	2025年9月1日(月) 10:00～9月5日(金)
1次選考(書類選考) 合格発表日時 受験票取得開始日時	2025年10月17日(金) 11:00～ ・合格発表は「UCARO」にて行い、合否結果通知の郵送は行いません。 ・合否に関する問合せには一切応じません。 ・ 1次選考合格者は、1次選考合格発表以降「UCARO」にて受験票を取得してください。 ・受験票の郵送は行いません。各自で印刷し、2次選考当日に持参してください。 [受験票の取得方法] 「UCARO」にログインし、「受験一覧」で該当する入学試験を選択してください。 「受験票・受験番号照会」の画面に進み、「受験票を印刷する」ボタンをクリックし、画面の案内に従って受験票を A4に印刷 してください。 ※印刷できない等の場合は、UCARO・Web出願ヘルプデスク(TEL 03-6634-6494)へ連絡してください。 ※「カナ氏名」等、記載内容に誤りがある場合は、入試課(問い合わせフォーム: https://chuo-admissions.zendesk.com/hc/ja/requests/new)へ連絡してください。但し、 出願内容(試験方式・学部・学科)は一切変更できません。
2次選考試験日	2025年10月25日(土)
合格発表日時	2025年11月6日(木) 11:00～ ・合格発表は「UCARO」にて行います(2026年3月31日(火)の23:59まで確認可能)。 ※合格通知書や合格証の発送は行いません。UCAROにログインし、「合否照会」の画面に進み「合格通知書を印刷する」をクリックすると「合格通知書」のダウンロードができます。 ※合否に関する問合せには一切応じません。 ※UCAROの合否照会画面、合格通知書、振込用紙等をインターネット上で発信する行為、インターネット上から入手したUCAROの合否照会画面、合格通知書を偽造する行為を固く禁じます。そのような行為をした場合、警察へ被害届を提出する等の対応をとることがあります。
入学手続期間	2025年11月6日(木)～11月13日(木) ※入学手続の概要は、『特別入試出願手引』を必ず確認してください。

受験上の注意

- ①多摩キャンパスの開門時間は8:00です。
- ②試験会場へは公共交通機関を利用し、時間に余裕を持って来校してください。なお、首都圏の主要な公共交通機関に乱れ・遅れが生じ、遅刻しそうな場合は、文学部事務室(多摩キャンパス3号館高層棟3階 TEL 042-674-3718)までお問い合わせください。
- ③受験票・筆記用具・時計・入学試験要項は試験当日必ず持参してください。受験票(裏面も含む)には、一切の書き込みを禁止します。試験当日、書き込みのある受験票を持参した場合、不正行為となる場合があります。なお、受験票を忘れた場合は、文学部事務室まで申し出てください。
- ④昼食は各自で用意してください。ごみは各自で持ち帰ってください。
- ⑤スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末・ウェアラブル端末等の電子通信機器は、試験教室に入る前に電源を切ってかばん等にしまってください。また、アラーム機能がある場合は、音が鳴らないよう設定してください。これらを時計として使用することはできません。
- ⑥生活騒音(航空機、自動車、風雨、空調その他室内設備から生じる音、動物の鳴声、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音等)に対する特別な措置は、原則として行いません。
- ⑦カンニング行為や他の受験者の迷惑となる行為をする等、監督者が不正行為と判断した場合、本受験は無効とします。また、不正行為者の在籍高校に報告する場合があります。

IV.出願書類

外国語型	専攻適性型	出願書類	所定用紙	☒
○	○	高等学校の調査書等	—	☐
○	○	志願者経歴書・検定試験記入用紙	書式1	☐
○	○	志望理由書	書式2	☐
○	—	外国語運用能力を証明する書類	—	☐
フランス語 文学文化 専攻のみ	○	小論文	書式3	☐
—	該当者のみ	活動内容説明資料	書式4	☐

※「○」は全員提出

高等学校の調査書等【全員】 ・2026年3月卒業見込みの者は第3学年1学期(2学期制の場合は前期)までの調査書(厳封印付き厳封) ※2学期制の高等学校や本人の責に抛らない留学などの理由で、第3学年1学期末まで、または前期末までの成績が記載された調査書を提出できない場合、第2学年修了時または、直近の成績での調査書を提出してください。 また、調査書備考欄にその旨を必ず記載してください。成績が出た後の追加提出は不要です。 ・海外の高等学校を卒業(見込み)の者は、「卒業(見込み)証明書」および「成績証明書」(10学年以上の成績が記載されたもの)を提出すること。 ・卒業するまでに複数の高等学校に在籍した者は、各高等学校の調査書(編入学・海外留学により単位認定を受けたものは単位認定の成績証明書)を提出すること。但し、最終出身高等学校の調査書に全ての成績(または取得単位)が記載されている場合は当該調査書のみで可。 ・卒業から5年以上経過し、調査書の発行ができない場合は、「卒業証明書」を提出すること。 なお、出身(在籍)高校で卒業証明書の発行を行っていない場合は、成績証明書に卒業年月が記載されていれば、卒業証明書の代わりとして受け付けます。 ・大学入学資格検定合格者・高等学校卒業程度認定試験合格(見込み)者は、卒業証明書・調査書の代わりに「合格(見込み)成績証明書」を提出すること(合格に際して免除科目がある場合でも、免除科目に関する証明書の提出は不要です)。 ※高等学校卒業程度認定試験は、2025年度第1回までの実施試験を対象とします。
志願者経歴書・検定試験記入用紙(書式1)【全員】 本学所定用紙を使用し、A4片面に印刷したものを提出してください。 ※手書きあるいはパソコンを用いての作成いずれも可とします。
志望理由書(書式2)【全員】 本学所定用紙を使用し、A4片面に印刷したものを提出してください。枚数・文字数の制限はありません。 ※パソコンを用いての作成は不可となります。
外国語運用能力を証明する書類【外国語型に出願する方のみ】 P.2～3「Ⅱ.出願資格」に該当する出願要件を満たす外国語運用能力を証明する書類を提出してください。 ※ドイツ語能力およびフランス語能力の事前審査に該当する場合は、必要書類について事前に入試課(問い合わせフォーム：https://chuo-admissions.zendesk.com/hc/ja/requests/new)までお問い合わせください。 検定試験により提出方法が異なります。提出方法については必ず『特別入試出願手引』を確認してください。
小論文(書式3)【該当者のみ】 以下の出願方式、専攻(プログラム)に該当する場合は必ず提出してください。 出願方式、専攻(プログラム)ごとに指定するテーマ(次頁参照)について、指定の字数で記述してください。 ※手書きあるいはパソコンを用いての作成いずれも可とします。 〈手書きで作成する場合〉 ・所定用紙(A4片面印刷、左上ホチキス留め)を用いて、志願者本人が黒のボールペンを用いて記入すること。 ・所定用紙は本学Webサイトよりダウンロードし、各自で必要な枚数分を印刷して使用すること。 ・ページ数を該当欄に記入すること。

- ・本文の最後に字数を記入すること。
- ・書き損じた場合は、修正テープ(修正液)は使用せず、修正箇所(=)を二重線(=)を引き、正しく書き直すこと。

〈パソコンで作成する場合〉

- ・任意用紙(A4片面印刷、左上ホチキス留め)を用いて、40字×40行、10.5ポイントで作成すること。
- ・手書き用を参考に、1枚目の上部に氏名、志望専攻(プログラム)、入試名称、出願方式を記載すること(表紙不要)。
- ・ページ数を下部に記入すること。
- ・本文の最後に字数を記入すること。

《小論文 テーマ(字数)一覧》

【外国語型】

フランス語文学文化専攻

専攻	テーマ(字数)
フランス語文学文化専攻	学習したフランス語を今後どのように生かしていきたいと考えているのか述べなさい。そしてその目的に照らして、今後自分のフランス語学習をどのような方向に導いていこうと考えているかを述べなさい。(4,000字程度)

【専攻適性型】

フランス語文学文化専攻、日本史学専攻、哲学専攻、社会学専攻、心理学専攻、学びのパスポートプログラム

専攻(プログラム)	テーマ(字数)
フランス語文学文化専攻	美術館における活動を通じて得たものについて論じなさい。(4,000字程度)
日本史学専攻	次の図書の中から1冊を選び、選んだ図書の内容を要約した上で、自分が見出した注目点・疑問点・論点を提示しながら、著者の見解と自分の意見を交えて論述しなさい。(4,000字程度) 1.野口実『列島を翔ける平安武士』(吉川弘文館 歴史文化ライブラリー、2017年) 2.沖本幸子『乱舞の中世 白拍子・乱拍子・猿楽』(吉川弘文館 歴史文化ライブラリー、2016年) 3.森幸夫『六波羅探題 京を治めた北条一門』(吉川弘文館 歴史文化ライブラリー、2021年) 4.呉座勇一『応仁の乱 戦国時代を生んだ大乱』(中公新書、2016年) 5.村井章介『分裂から天下統一へ』(岩波新書、2016年)
哲学専攻	今までに読んだ哲学書について論じなさい。(3,000字程度)
社会学専攻	自己推薦文(1,500字程度):自分がなぜ本専攻に入学するにふさわしいかを論じてください。自己推薦文では、以下の2点に留意してください。 (1)客観的な自己分析を心がけてください。これまでに行ってきた各種の活動、学習・研究の実績、成功や失敗の体験等を具体的に提示しながら、本専攻への入学がふさわしいかどうか自らを分析し、記述してください。 (2)現時点で、あなた自身が本専攻で学習・研究をしたいと考えている社会についての関心事(社会問題・社会現象など)について、どこかで必ず言及してください。 ※以上の点以外には、構成・内容に制約はありません。自己推薦文のエビデンスとなるような受賞記録やボランティア等の活動記録、自分が行った研究・学習の成果物(レポート・論文等)があれば、活動内容説明資料として任意で提出することも可能です。
心理学専攻	科学的な根拠を提示している心理学の本(2冊以上)を取り上げ、その長所と問題点について論じなさい。(3,000字程度)
学びのパスポートプログラム	大学を卒業するときに、学びのパスポートプログラムを通じてどのような力(能力等)を身につけたいのか、これまでの経験や学習を振り返りつつ、今後どのような大学生活を送る計画があるか具体的に述べなさい。(2,000字程度)

活動内容説明資料(書式4)【該当者のみ】

【専攻適性型】フランス語文学文化専攻への出願者【全員】／その他の専攻(プログラム)への出願者【任意】

活動内容説明資料(本学所定用紙)を含めて、A4用紙、最大8枚までは提出を認めます。

【専攻適性型】への出願者は、P.3<専攻(プログラム)別要件>の活動内容を説明する資料を、本学所定用紙(A4 片面印刷)に貼付し、提出してください(コピー可・原本証明不要)。

V.選考（2次選考）

試験日：2025年10月25日(土)

2次選考は、以下①および②によって行います。内容は出願方式・専攻(プログラム)により異なります(下表参照)。

①1時限目：外国語試験もしくは専攻(プログラム)別試験

②2時限目：面接、グループワーク等

<試験時間・試験内容>

専攻(プログラム) 【出願方式】		試験時間	
		1時限目	2時限目
国文学専攻 【外国語型】		10:20~11:20(60分) 外国語試験	13:00~ 面接
英語文学文化専攻 【外国語型】		10:20~11:20(60分) 外国語試験	13:00~ 集団面接 (英語でのディスカッション形式)
ドイツ語文学文化専攻 【外国語型】		10:20~11:20(60分) 外国語試験	13:00~ 面接
フランス語 文学文化専攻	【外国語型】	10:20~11:20(60分) 外国語試験	13:00~ 面接
	【専攻適性型】	10:20~11:50(90分) 専攻(プログラム)別試験	
中国言語文化専攻 【外国語型】		10:20~11:20(60分) 外国語試験	13:00~ 面接
日本史学専攻 【外国語型】 【専攻適性型】		10:20~11:50(90分) 専攻(プログラム)別試験	13:00~ 面接
東洋史学専攻 【外国語型】		10:20~11:20(60分) 外国語試験	13:00~ 面接
西洋史学専攻 【外国語型】		10:20~11:20(60分) 外国語試験	13:00~ 面接
哲学専攻 【外国語型】 【専攻適性型】		10:20~11:50(90分) 専攻(プログラム)別試験	13:00~ 面接
社会学専攻 【外国語型】 【専攻適性型】		10:20~11:50(90分) 専攻(プログラム)別試験	13:00~ グループワーク、面接
社会情報学専攻 【外国語型】		10:20~11:20(60分) 外国語試験	13:00~ 面接
教育学専攻 【外国語型】		10:20~11:20(60分) 外国語試験	13:00~ 面接
心理学専攻 【外国語型】 【専攻適性型】		10:20~11:50(90分) 専攻(プログラム)別試験	13:00~ 集団面接(ディスカッション形式)
学びのパスポートプログラム 【外国語型】 【専攻適性型】		10:20~11:50(90分) 専攻(プログラム)別試験	13:00~ 面接(プレゼンテーションを含む)

※面接は専攻(プログラム)毎に分かれて行います。なお、1時限目に外国語試験を実施している専攻では、面接で出願資格の外国語を使用する場合があります。

※2時限目は17時30分までに終了予定ですが、専攻(プログラム)の試験内容ならびに受験者数によって変更となる場合があります。

※試験会場は、多摩キャンパスです。集合時間および集合場所は、受験票で確認してください。

※フランス語文学文化専攻については、出願方式に応じて試験内容が異なります。

※選考方法に関する問い合わせ(面接の形式や面接時間等に関する質問)については、お答えできません。

<1時限目 外国語試験および専攻(プログラム)別試験について>

外国語試験

試験時間は60分です。

国文学専攻、英語文学文化専攻、ドイツ語文学文化専攻、フランス語文学文化専攻、中国言語文化専攻、東洋史学専攻、西洋史学専攻、社会情報学専攻、教育学専攻の【外国語型】出願者は、外国語試験を受験します。

出願した言語によって、試験内容が異なります。詳細は下表を参照してください。

出願資格(言語)	試験内容
英語	映像(英語)を視聴後、その内容に関する試験問題(選択式)に解答する(筆記試験)。
ドイツ語	ドイツ語で書かれた文章につき、日本語で答える記述式試験を行う。
フランス語	フランス語で書かれた文章を読み、内容に関する設問(フランス語)に対して、フランス語で解答する記述式試験を行う。

専攻(プログラム)別試験

試験時間は90分です。

日本史学専攻、哲学専攻、社会学専攻、心理学専攻、学びのパスポートプログラムの【外国語型】および【専攻適性型】出願者、フランス語文学文化専攻の【専攻適性型】出願者は、専攻(プログラム)別試験を受験します。

専攻(プログラム) 【出願方式】	専攻(プログラム)別試験内容
フランス語文学文化専攻 【専攻適性型】	講義理解力試験 視覚資料を用いて演習形式のディスカッションを行う。それを通じて、美術史・美術館への関心と、積極的に議論に参加する姿勢等を確認する。
日本史学専攻 【外国語型】 【専攻適性型】	歴史資料読解力試験 歴史資料に関する講義後、資料読解力試験(筆記試験)を行う。
哲学専攻 【外国語型】 【専攻適性型】	資料読解力試験 哲学者の英語の文章を読み、その内容について日本語で論述を行う(筆記試験)。
社会学専攻 【外国語型】 【専攻適性型】	講義理解力試験 教員による講義受講後、その内容にかかわる小論文試験を行う(筆記試験)。
心理学専攻 【外国語型】 【専攻適性型】	資料読解力試験 資料を読んだ上で、その内容にかかわる小論文試験を行う(筆記試験)。
学びのパスポートプログラム 【外国語型】 【専攻適性型】	読解力試験 学問領域を横断する内容のテキスト・資料等を読んで、総合的に考える力を問う論述試験を行う(筆記試験)。

VI.入学前教育課題

文学部では、大学準備教育の一環として特別入試合格者を対象とした入学前教育課題(課題図書、レポート等)を実施しています(無料。レポート等の郵送料のみ受講者負担)。詳細は「UCARO」のメッセージ機能を通じて、合格発表日に合格者に対してお知らせします。ご自身で必ず確認してください。

Q&A

No.	質問	回答
①	この入試において併願することは可能ですか。	志望専攻(プログラム)は1つに限ります。また、【外国語型】と【専攻適性型】の2つの方式がありますが、両方式の併願はできません。
②	過去問題はもらえますか。	過去1年分のみ本学Webサイトに掲載します。なお、著作権上公開できない場合があります。
③	面接は日本語で行われますか。	1時限目に外国語試験を実施している専攻では、2時限目の面接で英語、ドイツ語またはフランス語(出願資格の外国語)を使用する場合があります。
④	専攻適性型の出願資料「活動内容説明資料」は原本証明が必要でしょうか。	コピーの提出でもかまいません(原本証明は不要です)。なお、フランス語文学文化専攻【専攻適性型】志願者以外は、「活動内容説明資料」の提出は必須ではなく任意提出書類です。
⑤	社会学専攻では、出願資格に合格後の入学を確約できることと記載されていますが、これは他の大学は受験できないということでしょうか。	社会学専攻においては「中央大学文学部社会学専攻で学びたい」という意欲等を特に重視していますので、「合格後に社会学専攻に入学することを確約できるかどうか」が合否判定の一つの指標になっています。現時点で本学社会学専攻が第一志望である場合は、本入試にチャレンジいただければと思いますが、他大学等の受験を妨げるものではありません。
⑥	外国語型に出願予定ですが、専攻適性型の出願書類である活動内容説明資料を提出しても構いませんか。	出願書類として記載していない書類は、評価の対象にならないため、提出しないでください。
⑦	他学部の特設入試を併願する場合も、外部検定試験の証明書は、それぞれ提出する必要がありますか。	原則、出願書類は出願入試毎に取り揃えてください。原本が1部しか手元にはない場合は、原本証明を受けてください。 なお、本学への直送を認めている外部検定試験等の証明書については、1通のみで構いません。その場合、併願先学部、試験方式を記入したメモを出願書類に同封してください。